

topics①

被災12市町村の将来像実現に向けて 福島12市町村将来像提言フォローアップ会議

課題解決のために
ロードマップの作成が重要

この会議は、復興県、関係省庁、福島十二市町村等が、原子力災害により被災した十二市町村の復興の将来像実現に向け、検討・意見交換を行うことを目的に開催されました。

五月十八日、日本原子力研究開発機構 櫛葉遠隔技術開発センターにおいて、「第三回福島十二市町村将来像提言フォローアップ会議」が開催されました。

震災復興室 だより 8

28年6月1日

福島12市町村将来像実現
ロードマップ2020

A group of men in suits are seated at a long table during a formal meeting. There are several water bottles on the table. In the background, a cameraman with a microphone is filming the scene.

しがとし見めを決
た。あのたをに図の
り挨い。頂、る実
ま掲へ。戴竜た現

最後に、福島県鈴木副知事から、「福島の復興・再生には中長期的な対応が必要であり、国は今回のロードマップに提案された各ステージにおいて、予算等の確保をお願いしたい。」との挨拶がありました。

将来誇れる
町づくりが重要

家田教授との意見交換

福島県は、4月25日から5月13日の日程で、「福島県営農再開支援事業市町村巡回」を実施しました。農林水産省、東北農政本局、震災復興室も出席し意見交換を行いました。市町村から出された営農再開等に関する主な意見・要望等を紹介します。

川俣町

(4月25日14:00~)

- ①農地除染工法の内容、結果の一元的な情報管理の必要性について、②豪雨災害の復旧に向けた課題と現状について、③避難指示解除後の「避難区域等」について、④避難指示解除後の実証栽培（デントコーンの不耕起栽培、有害鳥獣対策、水稻の作付計画）について、⑤牧草地における農地引き渡し前の地力回復について、⑥有害鳥獣被害の対策について、⑦新たな農業への転換支援の直営施工について、⑧管理耕作のリースによる機械の導入について⑨豪雪で倒壊したビニールハウスの解体撤去費用の東電賠償について

田村市

(4月27日13:30~)

- ①水田放牧の実証における中山間地域等直接支払制度の取扱について
- ②管理耕作の対象農地の要件緩和について

楢葉町

(4月28日10:30~)

- ①有害鳥獣被害の対策について、②優良農地における仮置き場の早期撤去、仮置き場周辺環境の整備について、③除染後農地の石礫除去について、④埋却家畜の早期撤去について、⑤個人農家への支援強化について

浪江町

(4月28日13:30~)

- ①地域営農再開ビジョンの策定支援について、②除染後農地の状況について、③出荷制限解除に向けた実証栽培について、④桑園の除染について、⑤ため池除染について、⑥埋却家畜、埋却イノシシの最終処分について、⑦除染後農地の保全管理に係る機械導入について、⑧津波被災地域における管理耕作について、⑨避難指示解除後の復興組合支援による通作経費の補助について、⑩新たな農業転換への支援について、⑪営農再開支援事業の延長について

葛尾村

(5月9日10:30~)

- ①水稻の実証ほに係る苗の輸送経費について、②水田の暗渠の補修について、③鳥獣被害対策（箱わなの修繕、ワイヤーメッシュ柵の設置に係る補助率の嵩上げ）について、④農業再生支援センターの運営経費の支援について、⑤事業促進費（保全管理等の単価の嵩上げ）について、⑥酪農再開に向けた草地の確保について

topics②

福島県営農再開支援事業市町村巡回

広野町

(5月9日14:30~)

- ①カメリムシ対策の期限延長について
- ②色彩選別機の導入について

大熊町

(5月10日10:30~)

- ①担い手不足対策について
- ②埋却したイノシシの処分について
- ③鳥獣被害対策について

双葉町

(5月10日13:30~)

- ①担い手の確保について、②大柿ダム関連の水路の復旧について
- ③風評の払拭について、④避難先で営農再開した農業者へのフォローアップについて
- ⑤パイプハウスの設置に対する支援について

富岡町

(5月11日10:00~)

- ①農業アクションプランの策定について、②水路、ため池等の除染について、③鳥獣被害対策について、④除染後農地の管理耕作の使途の柔軟化について、⑤保全管理から管理耕作への移行について、⑥畜産の再開について、⑦水稻実証栽培の柔軟化について、⑧避難指示解除後の米の作付制限について、⑨一時埋却された牛・イノシシの処分について、⑩帰還困難区域の除草について、⑪森林再生に向けた取組みについて、⑫水産業再生に向けた取組みについて

飯館村

(5月11日14:00~)

- ①管理耕作に係る管理費について、②作物ごとのモニタリング結果の公表、出荷時期等について、③水田の畦畔補修について、④水稻の実証栽培における濁水対策について、⑤管理耕作における面積の確定、支払い時期について、⑥ラバー堰の復旧について、⑦花きの施設整備について、⑧家畜の飼養実証について、⑨GISを用いた営農再開情報等の整備について

川内村

(5月13日14:30~)

- ①管理耕作について、②新たな農業への転換について、③若い農業者の確保について、④有害鳥獣害対策について、⑤川内村産の米について

南相馬市

(5月13日10:30~)

- ①飼料用米の乾燥調整施設について、②営農再開支援事業の延長について、③鳥獣被害防止緊急対策について、④南相馬市における米の放射性物質吸収抑制特別対策について

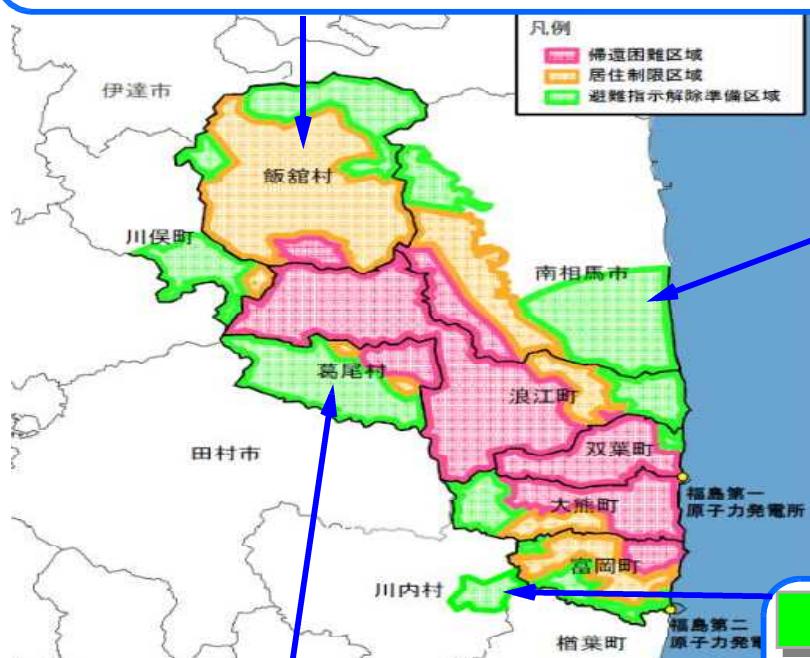
「復興への道しるべ」

避難解除に向けた「住民説明会」が各地で開催されました

飯館村

4月24日～5月11日（計5回）に「飯館村方部別住民懇談会」が開催され、延べ

約350名の住民の方が参加しました。懇談会では、居住制限、避難指示準備区域の避難指示を来年3月末に解除し、帰還に向けた長期準備宿泊を7月1日からとする飯館村・村議会の要望を踏まえ、内閣府から「飯館村の復興に向けた取組み」について説明がありました。住民の方々からは、帰還に向けた環境整備等の要望が数多く出される中、農林水産業関連では、①森林再生に向けたモデル除染、②ため池や湖沼の放射性物質対策、③畠畔草や排水路内の土砂処分等の意見・要望が出され、環境再生事務所、震災復興室等の所管官庁から回答を行いました。



葛尾村

4月10日、田村市の迎賓館辰巳屋において「葛尾村住民説明会」が開催され、約300名の住民の方が参加しました。村から、①避難指示の解除時期、②除染関連、③暮らしのガイド、④今年度の主な事業等について説明があり、その後、意見交換が行われました。営農に関する意見として、「イノシシが増えていることから、万全の対策を講じて欲しい」という要望があり、震災復興室から「営農再開支援事業の活用により、引き続き対応していく」と回答しました。



南相馬市

5月15

日～22

日（計4回）に「市民説明会」が、避難指示区域の7月の解除に向け開催され、延べ約800名の市民の方が参加しました。説明会では環境再生事務所から「除染及び廃棄物処理について」、現地対策本部からは「復興に向けた取組みについて」の説明があり、農林水産業関連としては、①出荷・摂取制限解除をしていない農産物について、②大柿ダムの水質及び汚泥について、③営農再開の支援について等の意見・要望が出され、震災復興室からは、「引き続き安心して営農再開できるよう支援していく」と回答しました。

川内村

5月8日、川内村

コミュニティセンター

において、荻・貝ノ坂地区の避難指示解除に向け、住民の方16名の参加のもと、住民懇談会が開催されました。住民の方から営農再開に関して、「畠畔が掘り起こされているなど荒れている、今後補修できるのか。」と質問があり、村産業振興課から「営農再開支援事業のメニューで対応できるのでご相談いただきたい。」と回答ありました。また、「放射線量が高い山林に囲まれた地区に帰ることになるので、山林の除染をしてほしい。」など住環境の放射線量に関する意見も出され、環境省から「個別に状況を確認しながら対応していく。」との回答がありました。

東北農政局震災復興室

〒970-8026 福島県いわき市平字堂根町4-11

TEL: 0246-23-8516 FAX: 0246-23-8512

発行責任者 東北農政局震災復興室 上崎博資